

大島祇園山笠【おおしまぎおんやまかさ】



開催場所
開催日

宗像市大島村
7月14日・7月15日

【芸能の概要】

祇園祭は本来夏の疾病退散を祈る行事である。7月14日(旧6月15日)には飾り山、7月15日(旧6月16日)には宗像大社中津宮(大島)で祭典の後、追い山が行われる。役場から中津宮まで約2kmを、大人の山2基、子供山2基、計4基の昇山(かきやま)で巡行していく。

【芸能の特徴】

大島祇園山笠の起源は江戸時代にまで遡ると推察されるが、詳細は定かではない。第二次大戦前から行われており、昭和初期までは、各地区別に大人の山が出され、最後の追い山の日には、それぞれの山が海に向かって突進していくなど、互いの競争意識が強かったといわれる。現在では、村民一体となってこの行事に参加しており、山笠保存会が設立された昭和46年以降は、保存活動にもより一層、力が注がれるようになった。

【使用する祭具・道具など】

神事後、大島小学校児童により編成される、磯っ子クラブによって太鼓打ちが披露される。小太鼓の代わりに竹筒を打ちながらリズムを取り、それに合わせて、大太鼓8を豪快に打ち鳴らす。

・アクセス

神湊港からフェリーで大島港へ
大島港から徒歩5分

・周辺の観光

風車展望所、大島村民具資料館、御嶽山展望台
夢の小夜島
還暦祝賀祭(1月)、みあれ祭(10月)
健康まつり(10月)、大島一周潮風マラソン(11月)

・近くの特産品

ニューサマーオレンジ、ヒラメ、サザエ
イカの一夜干し

